

★ 小豆 オオタバコガ情報 ★

現在、小豆は開花期～着莢期にあると思われます。この時期には、子実害虫(アズキノメイガ、マメノメイガ、サヤムシガ類など)の被害に十分注意する必要がありますが、近年、これらの害虫に加えて、**オオタバコガ**による子実、葉の被害が目立ってきています(写真1矢印)。



写真1 小豆の花を食害するオオタバコガ

オオタバコガの発生状況

平成22年9月13、15日に実施した巡回調査におけるオオタバコガの発生状況は右表のとおりでした(表中網掛け部分)。

本年の寄生株率、寄生虫数、発生ほ場率は、いずれも過去3年間で最も高い値になっています。

表 小豆におけるオオタバコガの発生状況

調査項目/年次	H22	H21	H20
寄生株率(%)	11.5	2.5	5.6
寄生虫数(頭/25株)	3.1	0.8	1.5
発生ほ場率(%)	75.0	25.0	50.0

防除対策

- オオタバコガに適用のあるBT剤(サブリナフロアブル、チューンアップ顆粒水和剤)を使用してください。
- 他の子実害虫と同様、齢が進んだ幼虫は薬剤の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要です。
- 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用してください。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」をご覧ください(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>)。

◎その他の害虫

その他の害虫として、巡回調査時にヨモギエダシャク(写真2左矢印)やエビガラスズメ(写真2右矢印)による葉の食害が多く見られました。今後、注意が必要です。

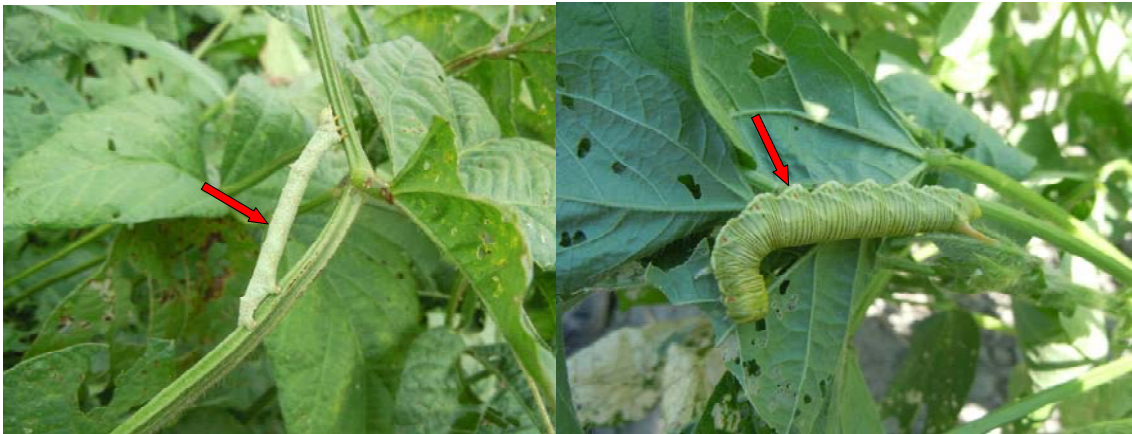


写真2 小豆の葉を食害するヨモギエダシャク(左)とエビガラスズメ(右)